

新鮮な産直野菜を

安く！おいしく！

社会福祉法人みんなの広場



東北福祉大学正門向かって左側のわき道を登っていくと、「産直野菜」ののぼりを立てたテントが見えてきます。販売されているのは、ジャガイモ、たまねぎ、ナス、トマト、モロヘイヤ、空心菜、トウモロコシなどの季節の野菜と、お米、小豆、調味料。野菜やお米は、大郷町や四郎丸、茂庭などで生産された採れたてのもので、野菜は一袋 100 円程度、お米も 2 kg 700 円とお手頃です。

この野菜直売所を運営しているのは、心の病の回復途上の人が地域社会でともに生きるための支援を行っている「みんなの広場にみ工房」（社会福祉法人みんなの広場）。野菜販売のほかに、軽作業や肥料の袋詰めなどの仕事の場をつくったり、グループホームやケアホームなど住まいの場を提供したりと、一人ひとりに合わせた多様な支援を行っています。新たな仕事のご依頼やご支援くださるボランティアさん、活動に関心のある利用者さんも常時募集中です。

今後、飲食スペースを設ける計画もあるそうです。いま話題の産直レストランのようなスペースができることに期待が高まります。

《社会福祉法人みんなの広場》

〒981-0943 仙台市青葉区国見1-17-17

※ 一方通行のため、お車の方はJR東北福祉大駅方面からお入りください。

TEL:022-234-1524 FAX:022-727-6460



▲総括所長の横谷聡一さん



▲「産直野菜」ののぼりが目印

「社会福祉法人みんなの広場」事業内容

■くにみ工房・・・就労移行支援、就労継続支援 B 型（仙台市青葉区国見1-17-17）

■工房きまち・・・就労継続支援 B 型（仙台市青葉区木町9-2）

■大郷ファーム・・・就労継続支援 B 型（黒川郡大郷町中村字原町 11-3）

■グループホーム・ケアホーム・・・一戸建てやアパートで、世話人と生活支援員からの援助を受けながら、数名が共同生活をしています。

〔男性専用〕くにみ荘（定員5人）、はちまん荘（定員4人）、ばうむ1号館（定員5人）、ばうむ3号館（定員5人）

〔女性専用〕レディース貝ヶ森（定員4人）、ばうむ2号館（定員5人）

集いの場&支え合いの拠点
「ひなたぼっこ」だより

<http://www.clc-japan.com/hinatabokko/>

7月24日(土)は、鹿児島県の過疎の柳谷地区、通称「やねだん」を地域再生に導いた仕掛け人、豊重哲郎さんをお招きし、講演会&「やねだん居酒屋」を開催しました。講演&居酒屋では、「地域再生のポイント」は目配り、気配り、感謝、感動「感動と感謝は最大の財産」「財源は人材」など、たくさんのお名言が飛び出し、共感された方も多くいたことと思います。やねだんでつくられている芋焼酎「やねだん」の試飲も大好評！今後、ひなたぼっこの居酒屋でも提供いたしますので、ぜひお試しを。



夏祭りは、子どもたちの笑顔でいっぱい！



また、7月29日(木)は、ひなたぼっこ夏祭りを行いました。あいにくの雨模様でしたが、くじ引きや水ヨーヨー釣り、ラムネの早飲み大会、スイカ割りなど、乳幼児～小学生まで、たくさんのお子どもたちが集まってくれました。子ども向けイベントは、今後も引き続き開いていきたいと思っています。

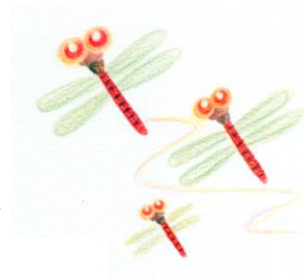
◆職員募集

ひなたぼっこの運営及び介護保険事業の立ち上げスタッフを募集しています。詳細はスタッフまでお問い合わせください。

期間：平成22年7月～平成23年3月末日
(期間延長あり)

資格：介護福祉士またはホームヘルパー1級

イラスト
by みゆき



地域ぐるみの子育てを応援する場
「八幡みんなの家」だより

<http://www.clc-japan.com/minnanoiie/>

7月27日(火)の「会員の集い」では、チョコレートケーキ&ドライフルーツのパンでお茶会を開きました。「働く車」の音楽にあわせていろいろな車が出てくると、子どもたちは大はしゃぎ。アニメ「ちびまるこちゃん」の音楽で踊った後は、お天気がよかったので駐車場でプール開きをしました。小さなビニールプールですが、涼しいひとときを過ごしました。

また、7月29日(木)は、第1回「保育施設における子どもの権利保障を考える委員会」を開催しました。(滋賀県大津市で、家庭虐待などで児童養護施設に入所する子どもを減らそうと始まった「保育の家しようなん」の実践を伺いながら、保育園や子どもの育ちなどについて話し合いました。今後は、毎月第4日曜日に意見交換会を開催していく予定です。

▼子どもたちは、水遊びが大好き！



国見中央町内会 会長 吉澤 秀晃さん

国見中央町内会は、大崎八幡宮裏参道入口と国見小学校、国見消防所に囲まれた旧八幡住宅地区エリアで、約550世帯が暮らす大きな町内会です。

吉澤秀晃さんは、15年前より町内の鈴虫荘公園の愛護協力会に携わっていたことがきっかけで、平成19年4月から町内会長になられ、今年で4年目です。平成20年には国見地区連合町内会の事務局長、現在は副会長（事務局長兼務）をされています。

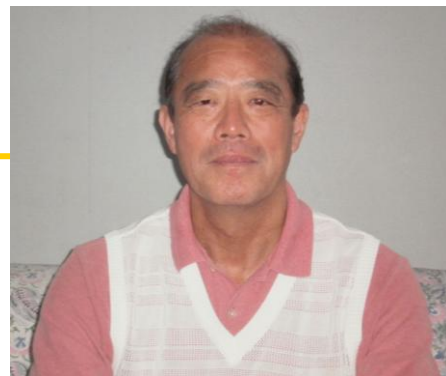
「人在りて我在り、他を想いやり、慈しむ心。これ即ち仁」この母校の学定の「仁」の心をもって町内会長、連合町内会の職務に取り組んでいるそうです。

町内会の今年の重点目標は、「高齢者や障害者家庭の人が安心して

暮らせる町内会づくり」。そのために“とんからりんノート（班ノート）”を作成し、班毎の一人暮らし・高齢者のマップ作り、支え合い調べ、班内のお助けマンの把握など、「お隣仲良く、お互い声をかけをし、助け合い支え合う愛情に包まれた町内会づくり」を目指しています。

また、「町内会って何しているの？」の声に答えて、町内会がどんな活動をしているか一目でわかるように、会長就任後、毎月『町内会だより』を発行。その季節の童謡を載せたり、高齢者も見やすいように文字を大きくするなど工夫され、町内の活性化と活動の浸透に心がけています。

吉澤さんは現在も体育スポーツ関係の職に就いており、多忙の身。



でも、町内会・連合町内会の企画・運営は、永年スポーツの指導者として培われた「いかに素晴らしいチームをつくるか」といった物の考え方が生かされ、プロデュースされているように思えました。

国見中央町内会の自慢を伺ったところ、鈴虫荘公園と集会所の前身の児童館を教えていただきました（下記参照）。「当時の素晴らしいお母さん方の心意気が、この地区の宝」とお話をいただきました。そして、その行動力、団結力が綿々と受け継がれている町内会だと、取材を通して感じました。

こんにちは！ 地域包括支援センターです！

私たち「地域包括支援センター」は、地域の高齢者を介護・保健・福祉などのさまざまな面から総合的に支援するための公的機関として、平成18年4月に設置されました。

仙台市では市内44か所、中学校区に1か所設置されています。お気軽にご相談ください。電話や来所のほか、ご希望があれば訪問もいたします。

○三条中学校・荒巻小学校区にお住まいの方は

葉山地域包括支援センター

TEL：273-4910

青葉区葉山町8-1

○第一中学校区にお住まいの方は

国見地域包括支援センター

TEL：727-8923

青葉区八幡四丁目2-1 早美ビル102



▲介護予防教室も開いています



鈴虫荘公園と児童館



鈴虫荘公園は、現在は市の所有地だが、昔は個人所有の湿地帯だった。そこに公園をつくるため、昭和23年「八幡住宅主婦の会」を結成して100年契約で借り、当時国道48号線の改良工事で出た残土で埋め立て、公園をつかった。遊具は市にお願いしてイベントで使用したものを無償で譲り受け、設置。完成まで2年を要した。

さらに、雨や雪の日に子どもたちの遊び場が無くて困っていたため、会の人々が相談し、以前浴場に使用していた建物を改造して児童館をつくることにした。県と交渉して土地は無償貸与、各戸からの寄付や共同募金の分配金を受け、また付近の瓦屋、材木屋、建具屋などが「子ども達のためならば」と快く材料の寄付を申し出、子どもたちもお手伝いして、昭和26年に児童館が完成した。その後も、八幡住宅主婦の会が内職をしながら、本やストーブなどを買い揃えた。

昭和32年2月発行の『全国児童館一覧』によると、八幡児童館は宮城県唯一で最初の児童館として記載されている。その後は町内の集会所として使用され、平成4年12月に新築し、国見中央集会所となり、現在に至る（資料は中区の中村好美さんの提供による）。

内容が変更される場合もありますので事前にご確認ください。
上記のほかにもイベントを企画中。詳しくは、各事業所へお問い合わせください。

Minna-no-wa◆4